

地域の農業を見て・知って・活かすDB

～農林業センサスを中心とした総合データベース～

分析事例作成方法



ここでは【分析事例7】農業の担い手の有無と施策の取組状況の作成方法を紹介します。

使用するデータ一覧

表名（ファイル名称）	年次	利用項目（対象列）	掲載場所
年齢別の基幹的農業従事者数 (SA4003_20〇〇_2020_〇〇.xlsx)	2020	K～T列	農林業センサス
集落営農実態調査 (SE0001_2021_2020_〇〇.xlsx)	2021	集落営農数（J列）	集落営農実態調査
多面的機能支払交付金 (GC0001_2019_2020_〇〇.xlsx)	2019	組織数（J列）	多面的機能支払交付金
〇〇県農業集落境界 (MA0001_2020_2020_〇〇.zip)	2020	農業集落境界	農業集落境界データ
〇〇県市区町村境界 (MA0003_2020_2020_〇〇.zip)	2020	市区町村境界	農業集落境界データ

データのダウンロード方法

データはEXCEL形式で都道府県別に掲載されています。ダウンロード後、データは任意のフォルダに保存してください。農業集落境界のzipファイルは展開して同じフォルダに保存してください。



ダウンロード（外部リンク）

データ名をクリックするとデータ一覧が表示されます。

使用する項目をクリック

1. 農林業経営体_調査客体
2. 農林業経営体_組織形態別経営体数
3. 農業経営体_組織形態別経営体数



例：経営耕地面積規模別経営体数

01.北海道（エクセル：871KB）	02.青森県（エクセル：253KB）	03.岩手県（エクセル：453KB）
04.宮城県（エクセル：357KB）	05.秋田県（エクセル：358KB）	06.山形県（エクセル：357KB）
07.福島県（エクセル：545KB）	08.茨城県（エクセル：516KB）	09.栃木県（エクセル：429KB）
10.群馬県（エクセル：276KB）	11.埼玉県（エクセル：574KB）	12.千葉県（エクセル：482KB）
13.東京都（エクセル：730KB）	14.神奈川県（エクセル：237KB）	15.新潟県（エクセル：659KB）
16.富山県（エクセル：300KB）	17.石川県（エクセル：261KB）	18.福井県（エクセル：239KB）
19.山梨県（エクセル：218KB）	20.長野県（エクセル：603KB）	21.岐阜県（エクセル：408KB）
22.静岡県（エクセル：470KB）	23.愛知県（エクセル：475KB）	24.三重県（エクセル：306KB）
25.滋賀県（エクセル：220KB）	26.京都府（エクセル：246KB）	27.大阪府（エクセル：211KB）
28.兵庫県（エクセル：539KB）	29.奈良県（エクセル：303KB）	30.和歌山県（エクセル：227KB）
31.鳥取県（エクセル：211KB）	32.徳島県（エクセル：391KB）	33.香川県（エクセル：283KB）
34.高知県（エクセル：283KB）	35.愛媛県（エクセル：403KB）	36.高知県（エクセル：364KB）
37.福岡県（エクセル：382KB）	38.佐賀県（エクセル：250KB）	39.長崎県（エクセル：313KB）
40.熊本県（エクセル：478KB）	41.大分県（エクセル：423KB）	42.宮崎県（エクセル：340KB）
43.鹿児島県（エクセル：709KB）	44.沖縄県（エクセル：112KB）	

目的の県をクリック

地図に取り込むデータの作成

- 1 SA4003_2020_2020_〇〇.xlsxを展開し、分析指標（65歳未満の基幹的農業従事者計）を作成し、それ以外の不要なデータを削除します。

key	pref	city	kcity	rcom	pref_name	city_name	kcity_name	rcom_name	男女計	男女_15～19歳	男女_20～24歳	男女_25～29歳	男女_30～34歳	男女_35～39歳	男女_40～44歳	男女_45～49歳	男女_50～54歳	男女_55～59歳	男女_60～64歳	65歳未満計
000000000	000	00	000	000	000	000			8767	1	12	23	66	64	113	138	127	272	708	1525
000000000	201	00	000	000	000	000			1689	0	2	10	14	15	35	37	23	50	148	335
000000000	201	01	000	000	000	000	000		275	0	1	3	3	1	9	16	5	7	27	72
000000000	201	01	001	000	000	000	000	000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
000000000	201	01	002	000	000	000	000	000	10	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
000000000	201	01	003	000	000	000	000	000	22	0	0	0	0	1	0	3	1	1	4	11
000000000	201	01	004	000	000	000	000	000	36	0	0	0	0	0	3	4	3	0	3	13
000000000	201	01	005	000	000	000	000	000	27	0	1	2	0	0	1	0	0	0	4	8
000000000	201	01	006	000	000	000	000	000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

削除

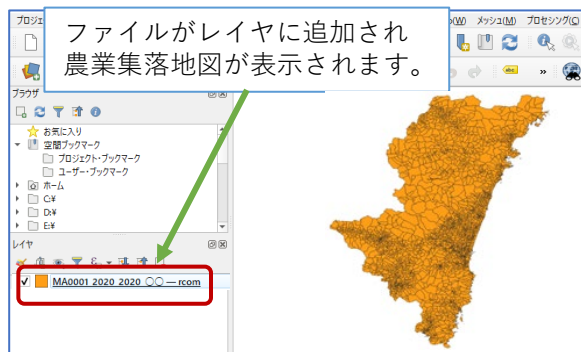
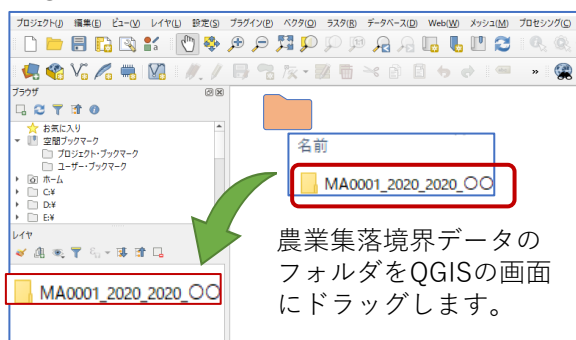
- 2 SE0001_2021_2020_〇〇.xlsxとGC001_2019_2020_〇〇.xlsxの統計表から、それぞれ「集落営農数」、「組織数」の列をコピーし、①のファイルに貼り付けます。表頭の名前を変更し、ファイル名を「データファイル.xlsx」（任意）として保存します。（以下データファイル）

GC001_2019_2020_〇〇.xlsx					SE0001_2021_2020_〇〇.xlsx				
pref_name	city_name	kcity_name	room_name	組織数	pref_name	city_name	kcity_name	room_name	集落営農
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	385	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	592
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	184	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	123
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	19	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	6
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	0	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	0
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	1	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	1
					集落営農数				
					基幹的農業従事者数				
					65歳未満計				
					集落営農				
					組織数				
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	201	01	002	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	201	01	003	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	201	01	004	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	201	01	005	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	201	01	006	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

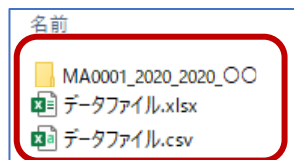
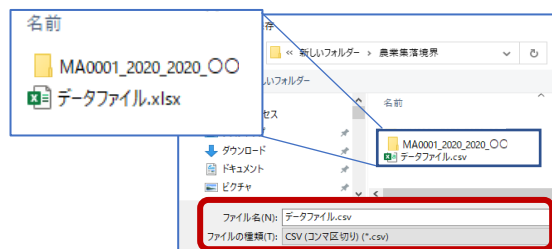
活かすDBのデータを使って作成した分析データを地図化

- 3 地図ソフト（QGIS）を起動し、農業集落境界データを読み込みます。

※③以降の行程の画像はイメージです。



- 4 ②で作成した「データファイル.xlsx」から「データファイル.csv」を作成します。

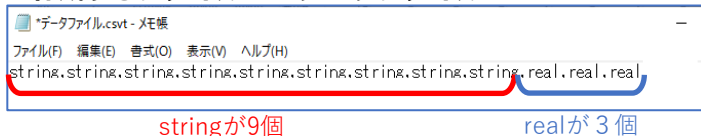


②で作成した「データファイル.xlsx」を開き、名前を付けて保存からCSVファイルを作成します。（ファイルの種類は「CSV（カンマ区切り）」を選択します。）

- 5 CSVファイルを作成します。

CSVファイルが格納されているフォルダに、CSVファイルと同じファイル名のテキストファイル（メモ帳等、拡張子は.csvt）を作成します。（詳しくはデータ利用の手引をご覧ください。）

作成するファイル データファイル.csvt

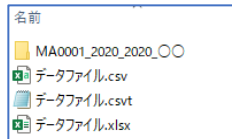


データファイル.csv

文字列 string 基本指標部のため文字列で使用する
数値 real 統計データのため数値で使用する

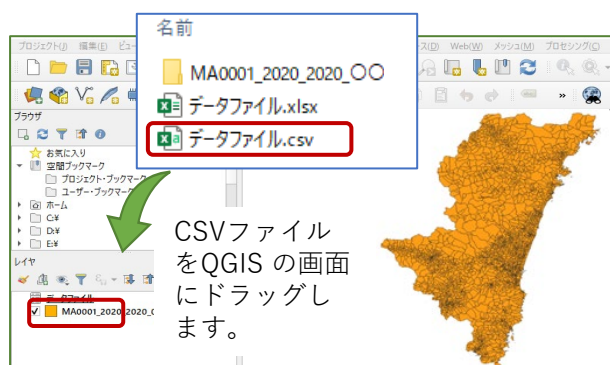
key	pref	city	kcity	room	pref_name	city_name	kcity_name	room_name	①	②	③
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	000	00	000	000	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	50328	24	178
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	001	00	000	000	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	58	-	-
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	001	01	000	000	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	32	-	-
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇	001	01	001	001	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	8	-	-

stringが9個

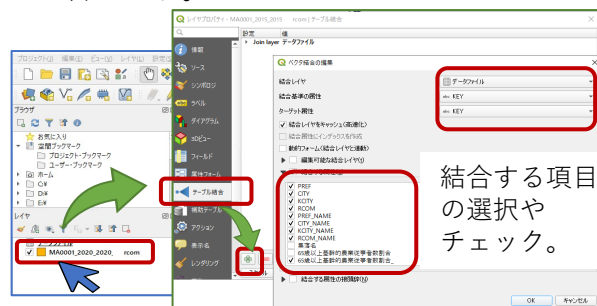


realが3個

6 データファイル（CSV形式）を読み込みます。

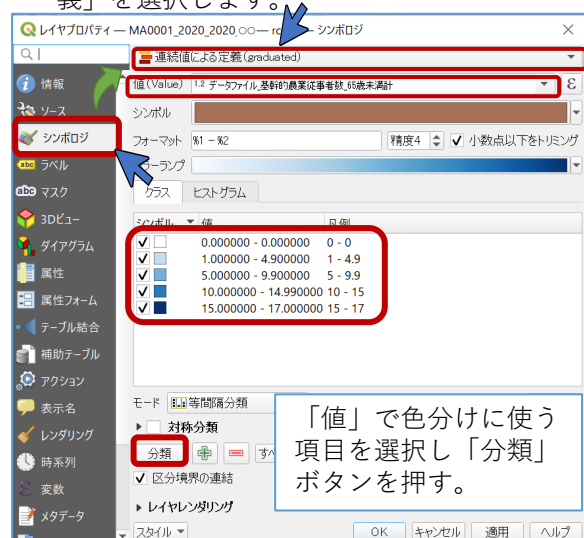


7 農業集落境界データとデータファイルを結合します。

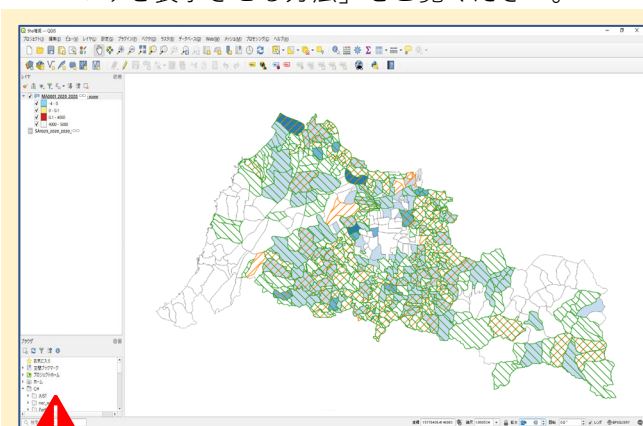


レイヤパネルの集落境界をダブルクリック、現れたレイヤプロパティの「テーブル結合」を選択し下部の「+」をクリックします。

8 地図の塗り分けをします。 シンボロジを選択して「連続値による定義」を選択します。



9 完成です。県全体から目的の市区町村のみを表示させるには、「（補足）特定の市区町村のみを表示させる方法」をご覧ください。

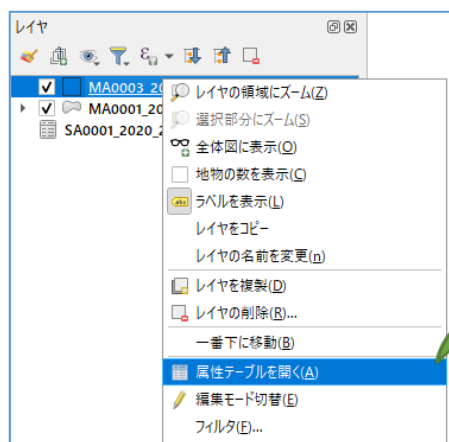


・本紙に書かれているQGISの操作は、大まかな手順を記載しています。詳しくは、「[活かすDBの利用方法](#)」に掲載の「データ利用の手引」をご参照ください。



（補足）特定の市区町村のみを表示させる方法

①レイヤ欄から市区町村境界を右クリックし属性テーブルを開きます。



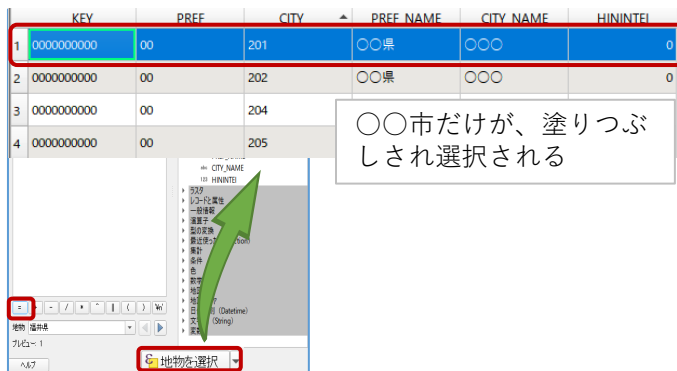
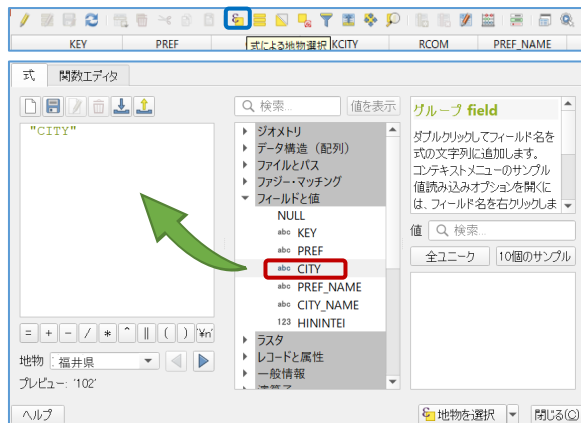
KEY	PREF	CITY	PREF_NAME	CITY_NAME	HININTEI
1	0000000000	00	201	〇〇県	〇〇
2	0000000000	00	202	〇〇県	〇〇
3	0000000000	00			
4	0000000000	00			
5	0000000000	00			
6	0000000000	00	207	〇〇県	〇〇
7	0000000000	00	208	〇〇県	〇〇
8	0000000000	00	209	〇〇県	〇〇
9	0000000000	00	210	〇〇県	〇〇
10	0000000000	00	322	〇〇県	〇〇
11	0000000000	00	382	〇〇県	〇〇
12	0000000000	00	404	〇〇県	〇〇
13	0000000000	00	423	〇〇県	〇〇
14	0000000000	00	442	〇〇県	〇〇
15	0000000000	00	481	〇〇県	〇〇
16	0000000000	00	483	〇〇県	〇〇
17	0000000000	00	501	〇〇県	〇〇

〇〇市の市区町村コード
(例:201)

※4 ページに続きます

②上部のタスクにある「式による地物選択」をクリックし、赤枠の「フィールドと値」にある「CITY」をダブルクリックします。

③「“CITY”」が入力されるので〇〇市の市区町村コードを入力し、地物を選択をクリックします。（“CITY” = 201 となるように入力します。）

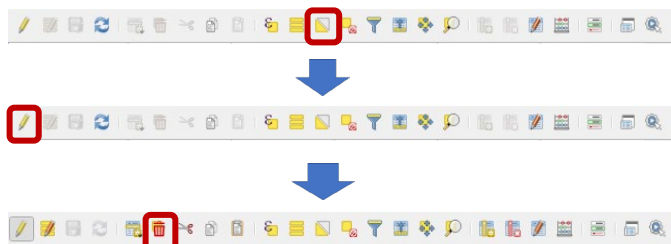


④属性テーブル上部の「地物の反転」をクリック→編集ボタンをクリック→削除ボタンをクリックします。

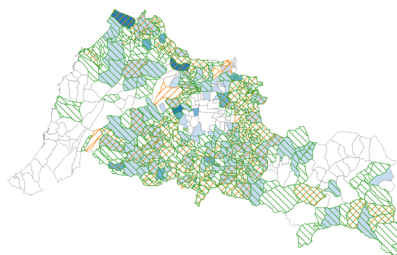


ポイント！

・「地物の反転」をクリックすることで、福井市以外の市区町村が選択されます。そのため、削除ボタンをクリックすると福井市だけを残して他の市町村が全て削除されます。



⑤〇〇市の切り抜き地図が完成です。



お問い合わせ先

農林水産省大臣官房統計部経営・構造統計課
センサ統計室 農林業センサ統計第2班
(直通：03-6744-2256)

センサ統計室では、「地域の農業を見て・知って・活かすDB」の利用に関する相談を受け付けています。
お気軽にご相談下さい。

